

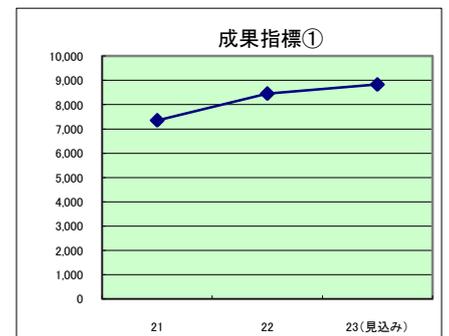
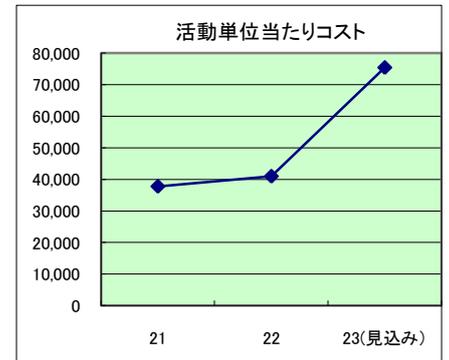
平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号

保高11

事務事業名		在宅高齢者おむつ給付事業		予算科目	会計	8	介護保険特別会計
					款	7	地域支援事業費
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		項	2	包括的支援事業・任意事業費
	施策(節)	3	高齢者福祉		目	2	任意事業費
	施策の方向	(1)	地域包括ケアシステムの構築		事業	2	家族介護支援事業
関連する計画等		羽曳野市高年者いきいき計画		作成部署		高年介護課地域包括支援室	
事業の目的	対象(誰を・何を)		65歳以上の羽曳野市民で、市民税所得割非課税世帯である要介護1～5の在宅生活の高齢者		連絡先		072-958-1111 内線 1398
	意図(どういう状態にしたいのか)		在宅生活等を続けるための支援を行う。				
	事業の内容		在宅で寝たきり等のためにおむつを使用している高齢者の福祉の向上及びその家族の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。 要介護1～3：一般会計(予算科目3・1・3・1) 要介護4・5：特別会計(上記予算科目)				
根拠法令等		羽曳野市地域支援事業等事業実施規則、羽曳野市在宅高齢者おむつ給付事業実施要綱					
事業開始時期		<input type="checkbox"/> 昭和 年開始 <input checked="" type="checkbox"/> 明確にはわからない <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度		平成 年度	
事業開始時からの状況変化		平成20年度より要支援1・2を対象者から除外し、対象者を要介護1～5とした。					
市民や議会の要望							
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()					
委託先		<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称() <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他		委託内容			

区分		21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込み)	
事業費【1】(千円)		7,355	8,455	8,830	
人件費【2】(千円)		1,485	2,160	2,340	
職員数	正規職員	0.15 人	0.25 人	0.25 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	臨時職員	0.20 人	0.20 人	0.30 人	
	超過勤務(参考)(時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費(【1】+【2】)【A】(千円)		8,840	10,615	11,170	
財源内訳	国費(千円)	1,660	1,845	1,780	
	府費(千円)	830	925	890	
	市債(千円)				
	その他(手数料・使用料等)(千円)	830	925	890	
	一般財源(千円)	5,520	6,920	7,610	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 給付人数		人	234	259	148
②					
③					
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)			37,778 円	40,985 円	75,473 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)			74 円	90 円	95 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	(式)			目標	実績	目標	実績	
					達成率(%)		達成率(%)		
	おむつ給付費		円	事業費	8,880	7,355	8,880	8,455	8,830
	②	(式)							

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
					○				○	有	介護者家族にとって要介護者のおむつ費はかなりの負担となるので、経済的弱者を対象とした助成は必要と思われる。

視点	分析のためのチェック点	はい			いいえ			該当なし	分析・評価の説明
		はい	いいえ	該当なし					
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	介護する家族を支援する政策として必要な事業である。今後も高齢者人口が増えていくことから、給付額も伸びることが予想される。限られた財源のなかで、増大するニーズに対してどのように対応していくのか、検討していく必要がある。				
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	社会情勢の変化に対応している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市内の多くの店舗でおむつ給付券を利用できるため、市民にとっては利便性が高いが、行政の事務量は多くなっている。また、要介護者の在宅生活が増える見込みであるため、事業に関わる費用は年々増加すると考えられる。				
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	簡略化できる方法や手段がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	家族介護者への支援策として、利用率も高く、有効である。				
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	おむつ給付事業について家族介護者教室で啓発し、また、民生委員に事業を把握していただくことで周知している。				
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	実績はほぼ計画どおりで進めることができた。				
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

担当部局評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了						
	評価の理由	おむつ等の給付により、在宅生活を続けるための支援ができたと判断できる。						
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)							
		引き続き、地域支援事業交付金を得ながら給付を継続する。しかし、今後も給付額は伸びることが予想されるため、限られた財源のなかで、増大するニーズに対してどのように対応していくのか、検討していく必要がある。						

行革本部評価	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了						
	評価理由・意見							